



東日本大震災・支援対策本部ニュース



—届けようワイズの心—

あれから半年が経とうとしています。緊急支援のフェーズから、被災地の復興に向けての支援のフェーズに徐々に移り始めています。私たちにできることは質・量ともに限りがあります。しかし、ワイズメンがワイズメンであることの自覚と誇りを持って、自分たちにできることを、心と力を合せて実行していくことで、少しずつですが、被災地の方々の笑顔が取り戻され、復興への道のりが縮まって行きます。東日本区・東日本大震災支援対策本部では、皆さんの思いを行動に繋げていただくお手伝いをこれからも最大限させていただきます。各クラブでの一層の取り組みをどうぞよろしくお願いいたします。

1. 仙台 YMCA、盛岡 YMCA からの支援要請にこたえて

<仙台 YMCA>

生活に困られている仮設住宅にお住まいの方々に米の提供を行うことが計画され、東日本区に支援の要請がありました。対策本部としてはこれにこたえて 7.7 トン分の支援（約 230 万円）を決定いたしました。支援企業からの 3.3 トンと合わせて 11 トン（10 キロ×1,100 戸）が山元町の被災者に寄贈されます。

<盛岡 YMCA>

洗濯機、自転車、電子レンジ、電気カーペットを重点支援物資として被災者に提供しようとしており、東日本区としてこれらの品を 100 万円分寄付することといたしました。

2. 盛岡 YMCA からの依頼

宮古ボランティアセンターでは被災者の方々に対象に、「たこ焼き・焼きそばを食べよう会」を継続的に開催していますが、これについて、全国のワイズメンズクラブにスポンサー（1 回分 3 万円）となってほしいとの依頼がありました。

既にご協力をいただいているクラブもありますが、多くのクラブのご協力をよろしくお願いいたします。

3. 各地のワイズメンの取組み

<東京江東クラブ>



7月29日（金）～31日（日）、東京江東クラブが仙台 YMCA、仙台青葉城クラブ、東京ひがしクラブと協働して南三陸町にて子供たちの余暇支援活動プログラム提供、海岸の漂

着物の撤去作業等を行われました。

<湘南・沖縄部>

湘南・沖縄部では、横浜 YMCA が盛岡 YMCA・宮古ボランティアセンターにボランティアを継続して派遣していることに協働し、今後、部としてワイズメンの参加を積極的に進めることを決められました。その第1陣として8月1日から5日間、湘南・沖縄部地域奉仕事業主査の池田さん他が現地を訪れ、各種の奉仕活動を行われました。

<チャリティーラン&ウォーク>

7月16日（土）に東京・日本橋をスタートして8月7日（日）には仙台に到着された大野 勉さん（神戸ポートクラブ）が、8月16日（火）に全行程 435 キロを踏破されました。伴走、出迎え等に各地のワイズメンが協力されました。

<東京まちだ・東京コスモスクラブ>

スタッフレス YMCA である町田 YMCA を運営されている東京まちだクラブおよび東京コスモスクラブが、8月5日（金）、6日（土）に地元の玉川学園商店会夏祭りにてバザーを開かれ、陸前高田の特産品の販売、募金等を行われました。

<街頭募金・所沢クラブ/富士クラブ>

所沢クラブが8月6日（土）、小手指西友前にて、富士クラブが8月21日（日）、新富士駅前にて街頭募金を行われました。

（皆さまのクラブでも是非街頭募金への取り組みを行っていただきたいと思えます。募金箱、横断幕等のツールは東日本区事務所にご請求下さい。）

<東京 YMCA の女川町支援活動>



東京 YMCA では宮城県・女川町の被災者を支援していますが、8月15日（月）、同町の夏祭り・盆踊り大会にて焼きそば 500 食をワイズメンが中心となって提供されました。

東京グリーン、東京ひがし、茨城、東京銀座の各クラブのメンバーが参加されました。

<東京武蔵野多摩クラブ>

使わなくなった楽器を被災地の小学校に届けるプロジェクトを仙台 YMCA の協力のもと準備中です。現地では生徒も参加するリトミック（音楽ゲーム）も予定しています。

4. 被災地視察のご案内

東日本区では盛岡での北東部部会の翌日の9月4日（日）早朝6時に盛岡を発ち、宮古（ボランティアセンター）、大船渡、気仙沼等の被災地を視察し、夕刻東北新幹線一関駅にて解散のバスツアーを企画いたしました。参加ご希望の方は理事事務局 漆畑さん（富士クラブ）にご照会下さい。

東日本区・東日本大震災支援募金累計額
16,465,746 円(8月25日現在)